

2025 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|--|---------|-----------------|--------------------------------|-----------------|-----------------------|---------------|
| 学 科 | スポーツ科学科 | | 科目区分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科目名 | 運動生理学 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 1年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | |
| 担当教員 | 橋本 貴之 | 実務経験と その関連資格 | PT、教育学修士 | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>人が運動すると、からだの各生理機能は運動の強度に応じて反応を示す。一定の運動を繰り返して行っていると、その運動に適応した生理的反応を示すからだに変化してくる。身体トレーニングは、この運動に対する身体の適応性を利用するものである。本授業では、運動によって惹起する生理的反応をトレーニング効果と関連付けて解説するとともに、トレーニングの進め方についても解説する。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>期末テスト70%、小テスト20%、授業への取り組み10%で評価する。</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>著者:勝田茂「入門運動生理学(第4版)」杏林書院</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>使用教材の熟読と授業内における配布資料の復習</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>解剖学など、他科目と関連付けながら学習してください。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋の種類や構造, エネルギーの供給システムについて理解する. | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第1章を読んで おく. | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 筋収縮とエネルギー供給系 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋線維の種類とトレーニングによる変化について理解する. | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第2章を読んで おく. | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 筋線維の種類とその特徴 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経の種類や構造について理解する. | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第3章を読んで おく. | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経系の役割 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋の収縮様式とトレーニングによる筋力の変化について理解する. | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第4章を読んで おく. | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 筋の収縮様式と筋力 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心臓の機能や血液成分について理解する. | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第5章を読んで おく. | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動と循環 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|-----------------|---------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 肺の機能やガス交換の仕組み、最大酸素摂取量の機序について理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第6章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動と呼吸 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ホルモンの種類や作用について理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第7章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動とホルモン | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋疲労の機序および乳酸の解釈について理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第8章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 筋疲労の要因 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体温調節の機序について理解するとともに、熱中症に対する対応について、生理学的に理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第9章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動と体温調節 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 5大栄養素の役割について理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第10章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動と栄養 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 肥満の定義や体脂肪に関する身体への影響について理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第11章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 身体組成と肥満 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 健康と体力との関係について理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第12章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動処方 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生活習慣病の種類と特徴について理解する。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第13章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動と生活習慣病 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 老化に伴う身体機能の変化とその機序について理解し、健康にとって負の変化に対するトレーニングについて生理学的に考察できる。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書第14章を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 老化に伴う身体機能の変化 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 前期の学びを復習し、各自が理解できていない単元について明確にする。 | 入門運動生理学 配布資料 | 教科書および配布資料を参考に復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 前期の習熟度確認 | | |